第 20 回（令和 6 年度第 5 回）タウンミーティングの概要

１　団体名　太田小学校区連絡会
　　代表者　会長　新井英一

２　日程等
（１）開催日　令和 6 年 8 月 25 日（日）
（２）会　場　太田公民館
（３）テーマ　太田小学校の閉校後の活用について
　　空き家対策について
　　自治会の活性化について
　　地域の安心安全について

３　意見交換の概要
市民　太田小学校の閉校後の活用について伺います。
　星宮小学校の跡地は熊谷市の市史編さん室が使うことが決まっています。私は太田小学校も市で利用していただくか妻沼の運動公園と同じように管理等の委託を希望しています。
　小学校の跡地を活用するにあたって、例えば校舎については、職員室は事務所、教室は会議室や学習室、サークルの活動の場として使い、各サークルに教室を管理して使っていただく。
　校庭は今も一般貸し出しで使っていますし、体育館は運動サークル、バドミントンやバレーなどで使っています。校区連絡会も防災訓練等で体育館を使っていますので、一般貸し出しを継続していただきたいと考えています。
　それから、プールについては除却する計画ですが、耐久年限が 2058 年までとまだ 20 数年使える施設ですので、オリンピック競技にもなっているスケートボードの練習場として使えればいいなと思います。妻沼の運動公園内のスケートボード場は、狭いし道路に面していて危険だなと感じています。
市長　来年度から太田小学校は男沼小学校、南小学校と統合し、妻沼西小学校として、スタートを切っていただくことになります。
　跡地利用については、新井会長さんに座長を務めていただいている跡地利活用検討委員会で進めていただいています。
　まず、プールについては、耐久年限はまだ先ですが、残すことによる防犯上や安全面での課題があるため取り壊しを考えています。プールの維持はお金がかかりますので、アクアピアや民間施設を使って集中的に水泳の授業を行い、それぞれの学校のプールは使わない方向です。

スケートボードの練習場については、私も市長になってすぐに、もう取り壊された市民プールに対して同じことを言いましたが、いろいろと不具合があり、そのまま使うことができないということでした。ですからプールをスケートボードの練習場にというのはちょっと厳しいかなと思っています。

ちなみに、さくら運動公園のアクアピアの南側に未舗装の駐車場があるんです。そこに、妻沼の運動公園のスケートボード場より少し大きなものをつくりたいと思っています。

閉校後の学校の管理については、市の方でということだと思うのですが、校舎については、今後、民間の企業や団体に打診して、要望があれば利用していただくことも考えています。

太田小学校の校舎については、地域の皆さんのご協力をいただきながら、何らかの利用ができればと思っています。ただ、職員を配置して管理すると財政的な負担が大きくなりますので、何らかの形で地域の皆さんと相談しながら利活用を考えていけたらと思っています。

体育館と校庭については、今までどおり地域の方にご利用いただけるようにしようということで動いています。

いずれにしても、9 月号市報と一緒に地域の皆さん方にアンケートを配ります。皆さん方のご意見を伺いながら決めていきたいと思います。

市民　今から数年前の台風のときに大雨で河川が氾濫し、だいぶ川の水が畑に流れたことがありました。避難指示が出ていたので、私も太田小学校へ避難しました。その時に感じたことですが、避難しても何もなかったんです。毛布 1 枚ない。大雨が降って非常に寒かったので家に戻ってしまいました。避難所に必要な物を揃えてあると非常に安心できるのではないかと思います。

市長　まず避難所は、地震と台風は違うことをご理解ください。地震の場合は妻沼地域内でも考えられると思いますが、水害については、より考えなければならない部分があると思います。水が出そうなときには、水の出ないところに避難をしていただくのも一つの考え方だと思います。太田地区の人は太田小学校じゃなければだめということではありません。市内どこに行っていただいても結構です。

二つ目、避難の物資をどう確保するかは、校舎の維持にもかかってきます。もし利用者がいないと、避難所だけで残しておくのは厳しくなります。

そこは地域の皆さんと相談しながら、管理の方向を決めた上で今のようなお話があれば、しっかりと対応させていただきたいと思います。

進行役　太田小学校には毛布を含め発電機などいろいろなものが備えてあります。先日の大雨のときには、市から 1 人と、校長、教頭の三人が見えていまし

た。二十数人の方が避難していたと思います。毛布は倉庫にあったので、申し出ていただければ対応できたのかなと思います。

市民　今の話で、進めてほしいと思ったのはＩＴ活用です。非常時は人手が足りなくなります。今、防災倉庫を自動開錠するというシステムもありますので、ある程度基準を決めて、例えば何々警報が出た場合に自動的に開錠させるなど、システム作りとかできないかなと思います。

市民　空き家対策について伺います。今、どの自治会にも数軒、多いところでは十数軒の空き家があるように見受けられます。市にはどこの家が空き家なのかという登録制度があるのでしょうか。何かあったときに、自治会長や民生委員が連絡を取れるように情報の開示をお願いできればなと思います。

市長　空き家対策はどこでも問題になっています。全国では約 899 万 5200 戸の空き家があるそうです。熊谷市全体では約 2100 戸の空き家があります。太田地区には 66 戸ぐらいあるそうです。

登録については、その家屋等を持ってる方から申し出ていただければ作れるのですが、こちらから決めるわけにいきません。というのは、場合によっては将来使いたい、貸したいという人もいるでしょう。その情報を出してほしいという話がありましたが、個人情報保護の問題で出したいけれども出せない状況にあります。

ちなみに、この空き家の相談や苦情を熊谷市全体だと昨年度は 273 件いただいているところです。

市民　太田地区には現在 15 の自治会があります。その中でも役員の任期が 1 期 2 年の自治会が 7 自治会、1 年任期の自治会が 8 自治会です。輪番とはいえ、1 年では次の方への申し送りも上手くできないのではないでしょうか。

世帯が多い自治会は任期 1 年でもすぐに決まると思いますが、世帯が少ない自治会はどうでしょうか。定年前の方が自治会長をしてくださっている地区もあります。負担が大きいのではないかと思っています。

自治会長を受けてくださる方は、自分の代わりにやってくださっているというように 1 人 1 人が協調性を持って、自治会や地域を盛り上げていただければと思います。ＰＴＡの役員、またお寺や神社の役員、そして公民館の役員もそうですが、他人事のように思っていては、いい仕事はできないと思います。

やはり皆さんが協調性を持って地域のためにやっていただければなっていうふうに思います。

一例として、八木田の自治会では、平成 21 年から自治会長、会計と班長が 11 人います。毎月 1 日にその 13 人が集まって、配布物はもちろん、太田地区

の事業、行事の報告、地元の自治会の報告、そして神事等のお話もして、皆さんにいろいろ諮って、それでコミュニケーションをとるようにしています。

良いことは皆さんも真似していただきたいなというふうに思います。

市長　自治会をおまとめいただきましてありがとうございます。

お話のとおり自治会から始まって、民生児童委員や、ＰＴＡがあったり、育成会があったりということで、大変厳しい状況であることは私も聞いています。任期１年、２年ということで、順番でしているということですが、いなくなってしまうと地域の情報や市の情報が地域に伝わりにくくなりますので、自治会活動の継続をお願いしたいと思います。

とにかく自治会の加入者数、加入割合もどんどん減ってきています。今、全体で 70%ぐらいです。

街なかも賃貸の住宅が増えてきていまして、そういった方たちはなかなか自治会に入ってくれませんので、個人ではなく建てたオーナーに自治会に入るよう勧めさせていただこうかなと思っています。

私は、１年ごとにでもやってくださる、途切れずに繋いでいただけることに感謝を申し上げたいと思います。

市民　市の放送の設備を各自治会でも使えるようにした方がいいと思うんです。私が自治会長をやっていた頃は、市の放送設備を自治会独自の連絡事項の放送に使えたんですが、今は目的外使用でだめだと伺っています。

市長　今は、急遽イベントを中止する場合、例えば今日実施予定だった運動会は中止ですというような緊急の場合は使えるということですので、危機管理課と相談していただきたいと思います。

市民　地域の安心安全についてです。

小学校の統廃合によるバスの乗降場所への子供たちの通学路について、夏休み前に学校を通してＰＴＡの理事さんにお話をしました。自分たちの子供が通る通学路に危ないところがないか見直しをしていただいて、グリーンベルトの申請についてもお願いしました。

通学路の危険箇所については、地域の自治会長さんに相談して、地域のことは地域で解決策を出し、そして行政に託すべきだというふうに考えています。

私の八木田地区は、集会所からバスに乗って学校に行くようですが、信号機の下の待機場所がないので、自治会長に相談し、市に申請を出していただきたいとお願いしました。

市長　お子さんたちの安心安全については、学校が新たになって通学路も大きく変わります。バスでの送迎になりますので、そういった情報をいただきなが

ら、安心して待てる場所作りもさせていただいているところです。
　先ほどお話あったようにグリーンベルトの対応や、場合によっては地域の皆さんとご協議をいただいて、車が待つのにちょうどいい場所がもしあれば、対象の位置の変更も今後協議していただけたらありがたいと思ってます。
　いずれにしても、今までと違ってお子さんたちが歩く距離は短くなるだろうということですので、そういった部分も含めて、地域の皆さんとしっかり話し合いをさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

市民　いろいろな課題に対応するためには、費用のことが必ずついて来ます。2040 年問題で住民税がかなり減少するといわれる中で、市として今後のコンパクトシティ化について何か考えていますか。

市長　単純にコンパクトシティを目指すのではなくて、まずは地域の方たちが暮らしやすい状況がどうなのかということが第一だと思っています。
　税収に関しては、妻沼西部工業団地完売後、企業を誘致する場所がなかったのですが、今、荒川の南に県と協議をしながら工業団地の整備を検討しており、今年度中に一定の結論が出ると思います。実現すれば、固定資産税をはじめ、かなりの税収が見込めます。
　市として、新たな橋や道路に絡めて、地域にどのような働き口をつくるかなど、全国的に地域格差がかなりあるなかで、東京を中心にこの関東にはまだまだニーズはあると思っています。外からどうやって熊谷に企業と人を呼び込むか、しっかり取り組みたいと思っています。
　その上で、今日話にあった空き家もどう活用していくのか。宅地のうちに必要な人に売っていただくと、そこに次の人が入って来ることができますので、そういう土地の流動性も含めて協議をしていきたいと思います。